



Vol.14

複数の金融機関と契約し、多くの金融商品を扱っています。ここ数年の金融商品の増加や多様化の速さには驚いています。一九九六年の橋本内閣のときに発表された日本版ビッグバンから一〇年が経ちました。金融商品の数や多様性についてはまさにビッグバンと呼ぶにふさわしい状況になっていると思う反面、さまざまな金融商品とこれらの商品の購入者を仲介する機能が十分に育っていないように感じています。

これらの金融サービスを利用する消費者は、数多い金融商品から必要なものをどう選択すればよいのでしょうか。それを解決するためには、金融商品そのものの優劣だけで判断することなく、その資金の目的を明確にすることだと考えています。

弊社では、個人・法人問わず、お客さまに金融商品のパンフレットを最初から持参することは絶対にありません。まずはその人や企業の状況や考え方などを聞かせていただきます。そつす

## 目的を持たない「投資行動」は、その人の人生を豊かにしない



村上 敬一 (むらかみ・けいいち)

オールアセット マネジメント 代表取締役

1988年駒澤大学卒業。証券会社、保険会社において個人から上場企業までコンサル営業を展開。独立後、あらゆる金融商品を扱い、セミナー活動など、真に利用者の立場に立った活動を展開中。

日本IFA認証機構認証 (CIFA)

URL:<http://www.allasset.co.jp/>

連絡先：☎ 03-3295-3177

ればおのずと目的が明確になっていきます。そして最後の段階で、金融商品そのものの検討をしていただきます。なぜならば目的を持たない「投資行動」は、羅針盤のない航海と同様に危険だと考えているからです。

私自身の事例で恐縮ですが、以前、目的を持たない「投資行動」で失敗しました。証券会社から保険会社へ移った頃、それまで積み立てしていた預金を解約して、直接「株式投資」を行いました。証券会社時代は、株を買うこととはいろいろな制約があり、ほとんどやっていなかったのですが、転職により自由にできるという動機からの「株式投資」でした。

結果は儲かりましたが、利益を含めて元金まで手元には残りませんでした。無駄遣いをした覚えはありませんが、利益も元金も日々の生活、仕事の中で消

えていったのです。

私の失敗は、金融商品の選択や「投資」技術の失敗ではなく、目的を持たない「投資行動」が原因だと考えています。

積み立てという習慣（投資行動）を、現在も仮に続けていたとしたならば、運用成果はもちろん、まとまった資産が形成され、そのお金によって、私自身の事業の選択枝や、家族の経済行為の選択枝の幅が格段に広がっていたでしょう。

「日本版401k」が導入され、否応なく投資性資産を持っている人が増えています。これについては、皆さんが老後資金のためという目的を持つ「投資」ですので、その目的から導き出される方法で運用していけば、必ず良い投資結果が得られると思います。

投資の際に重要なことは、「目的を持つ」「時間をかける」「分散する」ことだと思っています。

目的を持たない「投資行動」は、決してその人の人生を豊かにはしないと確信しています。